2015 年は播磨国風土記 1300 年祭

2015 年は、日本最古の地誌である『播磨国風土記』が編纂されてから 1300 年の記念の年となります。

加西市では、1300 年祭に向けて、2013 年はキックオフ期間、2014 年はプレ期間と位置づけ、3 年計画で風土記記念事業を実施してきました。2015 年はいよいよ 1300 年祭本番です。

100 年に一度の記念の年に、根日女伝説の舞台でもある玉丘史跡公園で、「加西市播磨国風土記 1300 年祭」を開催します。

■**日時**／5 月 4 日（月・祝）、5 日（火・祝）
※ 5 日荒天時は 6 日（水・祝）に延期
■**場所**／玉丘史跡公園
■**主な内容**
・梅原猛さんが『播磨国風土記』を題材に書き下ろした新作能の上演
・野村萬斎さん監修・出演による新作狂言「根日女」の上演
・播磨地域物産展、ステージイベント等
※詳しくは、広報かさい 3 月号でお知らせします。
※最新情報はフェイスブックでチェック。

播磨国風土記の里加西フェイスブック

左／平成 26 年 4 月 29 日に市民会館で開催したレクチャー公演で、狂言の代表的な作品「附子（ぶす）」を演じる野村萬斎さん（右）と高野和憲さん。**右上**／平成 26 年 10 月 4 日に玉丘史跡公園で開催した「播磨国風土記プレイベント」で、能楽師の大槻文蔵さんらが半能「石橋（しゃっきょう）」を公演。**右下**／野村萬斎さんがこども狂言塾の塾生を指導。

1300年祭にかける熱い思い

「加西市 能・狂言総合プロデューサー」の藤田六郎兵衛さん、「加西市こども狂言塾」の講師として塾生（27 人）を指導する狂言師（万作の会）の高野和憲さんに 1300 年祭にかける思いを語っていただきました。

ふじたろくろびょうえ
藤田六郎兵衛さん

―加西市の印象

風景を見て、豊穣の地と思いました。人々の心も穏やかです。ただ、豊かゆえに、自分たちの歴史の財産に気づいていない方が多いのかなと感じ、残念に思いました。

―笛方の藤田流十一世宗家として

家業として 400 年、能の笛の家元を継承してきました。能など現代の暮らしと無関係だと思っている人が多いと思いますが、日本人の背景にある「時の積層」に気付いてもらえるように、さまざまな活動をしているつもりです。

―能・狂言の魅力とは

能は悲劇、狂言は喜劇と言われていますが、そこには時を超えた人間のドラマがあります。今回の新作能と狂言にも、愛や別れ、哀しみや笑いがちりばめられています。

―新作能について

風土記に登場するオケ、ヲケの両皇子の歴史と人生にスポットを当てた物語になるはずです。梅原猛先生が、何度も書き直されるほど『播磨国風土記』に愛を込めて書き上げてくださっています。

―新作狂言「根日女」

皆さんが慣れ親しんでいる根日女伝説のお話を、狂言師の野村萬斎さんに監修していただいて、新作狂言になりました。それを狂言のプロたちと、1 年をかけてお稽古した「こども狂言塾」の塾生が演じます。

―1300 年祭に向けての抱負

このプロジェクトは 5 月 4 日で終わるのではなく、今回の能と狂言ふたつの作品は、加西市民の宝物です。『播磨国風土記』の物語が、この加西に永く愛され続けるように、私のもてる全力を注いでプロデュースします。市民の皆さんと一体になって頑張ります。

藤田六郎兵衛さん
（加西市 能・狂言総合プロデューサー）
能の笛方三流儀（一噌・藤田・森田）の一つ、藤田流十一世宗家。重要無形文化財総合指定保持者。社団法人日本能楽協会理事、国際文化交流・協力推進委員（文化庁）、名古屋音楽大学客員教授としても活躍。

たかのかずのり
高野和憲さん

―加西市の印象

自然豊かなところですね。この土地に伝わる根日女伝説を大人も子どもも大切にしていて、この事業に取り組む熱い思いがひしひしと伝わってきます。そういうものがあるということが、羨ましくもありますね。

―「こども狂言塾」の塾生について

昨年の４月から約９カ月、子どもたちにとっては長い期間だったと思いますが、熱心にお稽古を続けて、やめる子もなく続けてきたことはすばらしい！と思っています。

―指導する上で難しい点は

私の稽古は月に１度なので、忘れたころにやってくる感じで（笑）、皆さんに思い出してもらうのが大変ですね。子どもは大人と違って、そう長い時間を集中することができないので、飽きさせないように工夫しています。

―高野先生の指導日以外は、こども狂言塾応援隊の皆さんにご指導いただいています。何かアドバイスはありますか。

基本的に団体稽古をしてきましたが、これから個々の役が決まり、本格的な稽古になります。どの役でも周りを頼らず１人でできるように指導してください。

―狂言の道に入られたきっかけ

実は、何もわからないでこの道に入ったのですが、やっていくうちに狂言のすばらしさに目覚めました。

―狂言の魅力とは

失敗してもくじけない人間のたくましさを表現しているところだと思っています。

―5 月の 1300 年祭に向けての抱負

あと５カ月、新作狂言「根日女」を皆さんと一緒に作り上げ、成功させるべく、力を合わせて今まで以上に頑張りましょう！！

こども狂言塾の練習風景

高野和憲さん（加西市こども狂言塾講師）
野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修終了。能楽協会会員。「万作の会」の演者の一人として張りのある声を生かし、国内外の公演に出演・活躍中。若手の中心メンバーとして、一門を支えている。

「かさいまちあそび 2015」体験プログラムを募集

「もっと加西を楽しもう」をテーマに、加西市播磨国風土記 1300 年記念事業として、平成 26 年 10 月 4 日から 26 日に開催した「かさい まちあそび 2014」。大好評につき、今年も「かさいまちあそび 2015・春～加西を楽しむ 40 のプログラム～」を開催します。

体験交流プログラムの実施を希望する団体や個人、事業所を募集します。応募方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。また、プログラムの登録に興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

■**期間**／４月 25 日（土）～５月 17 日（日）
■**場所**／市内全域
■**プログラム例**／施設・工場見学、陶芸教室、手作りパン体験、まち歩き
■**登録費**／１プログラム 2,000 円（ガイドブック製本費）
■**募集期間**／１月９日（金）～２月 20 日（金）
■**申込先**／播磨国風土記 1300 年事業推進室☎㊷ 8756

フラワーアレンジメント教室

和菓子手作り体験

かさいまちあそび 2014

そば打ち体験やまち歩き、北条鉄道の特別車庫見学など、40 の体験交流プログラムに、約 2,700 人が参加されました。

参加者アンケート

・普段は見ることのできない場所を見学でき、とても興味深かった（神姫バス車庫見学）。
・ガイドさんの案内が上手で、加西を知る一つの機会になった（根日女の里を行く　親子ふれあいウォーク）。
・細かい手作業で大変だったが、とても楽しかった（ネックレス・ブレスレット作り体験）。
・珍しい乗馬体験ができて満足（播磨 Agri スクール乗馬体験）。

発行／加西市　TEL0790-42-1110（代表）
〒 675-2395　加西市北条町横尾 1000 番地
ホームページ　http://www.city.kasai.hyogo.jp
播磨国風土記の里 加西ホームページ